

# 高画質ドライブレコーダー

## 取扱説明書 / 保証書



この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に本書内容をよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。  
なお、お読みになった後は、大切に保管してください。



事故発生時は、ファイル保護の為、必ず電源をOFFにしてから  
電源プラグを抜いて、ファイルが上書きされない様にしてください。

**microSDカード最大64GBまで対応** ※Class10以上 をご使用ください。

※新品のmicroSDカードをご使用の場合には、「システム設定」の  
項目よりフォーマット作業を必ず行ってください。

※録画中はボタン操作ができません。「OKボタン」で録画を止めてください。

●初期設定不要で、基本的な動作は可能です●

# もくじ

•ご使用の前に	2
•安全上のご注意	3~4
•お手入れについて	5
•セット内容	5
•仕様	6
•各部の名称	7
•取付け方	8~10
•車との接続	11
•ボタンの機能	12~13
•ビデオモード	14~16
•再生モード	17~19
•システム設定	20
•microSDカードについて	21
•録画ファイルの読み込み	22
•電波干渉に関するご案内	23
•日付・時刻の設定方法	23
•GPSビューアアプリ【GXPlay】	24~28
•microSDカードに関するご案内	29
•用語解説	30
•必ずお読みください	31~32
•保証書	巻末

## ご使用の前に

- 本製品の仕様及び外観は予告なしに変更することがあります。
  - 本製品の使用による、下記のような損害及び逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねます。
- ※車両や物損事故、及び人身事故
- ※本製品を取り付けたことによる車両や車載品の故障、事故等の付随的損害
- ※microSDカードに保存されたデータの破損 など
- LEDタイプの信号機は画面がちらついたり、色の識別ができない場合があります。
  - 本製品は全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。特に下記の場合にデータが上書きされるなどして必要なデータが保護されない場合があります。
- ※車両への衝撃が弱く、本製品のデータを保護する機能が働かない場合
- ※人や自転車との衝突で衝撃が軽い場合
- ※車両がスリップするなどして、衝撃が緩和された場合
- ※衝撃で本製品への電源供給が切断されて記録できない場合
- ※水没などで本製品が損傷してデータそのものが破損した場合
- 本製品で記録した映像、音声データの使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシー等の権利を侵害する場合があります。これらの場合について当社では一切その責任を負いかねます。十分にご注意ください。

## 安全上のご注意

### **警告**

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### **注意**

誤った取扱いをすると、人がケガをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### **警告**

- 運転者は車両の走行中に操作、画面の注視をしないでください。運転中の操作は前方不注意となり、事故の原因となります。操作は必ず安全な場所に停車して行ってください。
- 運転（ハンドル、ブレーキ操作）や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くに取り付けたり、配線をしないでください。エアバックの動作を妨げたり、エアバックで本製品が飛ばされ、ケガや事故の原因になる恐れがあります。
- 医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品の動作を確認するために、急ブレーキ等の危険な運転はおやめください。
- 万一破損、故障した場合や、異臭や発熱など異常を感じた時はすぐに使用を中止し、販売店またはカスタマーセンターへご連絡ください。
- ご自身で修理・分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。
- 小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

### 注意

- 本製品は車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的には使用しないでください。
- 本製品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。
- 次のような場所では使用や保管しないでください。故障の原因になります。
  - 直射日光の当たるところ
  - 極端に高温・低温になるところ
  - 湿気やホコリ、油煙の多いところ
  - 炎天下で窓を閉め切った自動車内（※エンジンを切った駐車中の無人の車両を差します。）
- ルームミラー裏側への取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように取付けてください。
- 取付けは確実に行ってください。確実に取付けられていないと、落下して故障の原因になります。
- 落としたり強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 水につけたり、水をかけたりしないでください。故障・火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障・感電の原因になります。
- ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中などで重いものの下にならないようにしてください。無理な力がかかるとモニターや内部の基板などが破損し、故障の原因になります。
- ご自身で修理・分解・改造しないでください。故障の原因になります。
- コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重い物を載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように配線してください。
- 推奨動作温度（ $-10^{\circ}\text{C}$  ~  $+60^{\circ}$ ）、保管温度（ $-20^{\circ}\text{C}$  ~  $+80^{\circ}$ ）

## お手入れについて

- お手入れをするときは、必ず電源を切り、DCケーブルを車のシガーライターソケットから抜いて行ってください。
- シンナーや化学洗剤を使用しないでください。
- 汚れやホコリは柔らかい布で拭き取ってください。

## セット内容

- ・本体
- ・付属カメラ(ケーブル長:約5.8m)
- ・GPSアンテナ
- ・設置ホルダー×2(吸盤式/テープ式)
- ・DC電源プラグ USBポート×2(5V/3A、12V/24V車対応)
- ・miniUSB/USBケーブル(電源用/ケーブル長:約3.5m)
- ・miniUSB/USBケーブル(PC接続用/ケーブル長:約0.2m)
- ・miniUSB/miniUSBケーブル(GPSアンテナ接続用/ケーブル長:約0.7m)
- ・取扱説明書(保証書付)
- ・録画中シール

※microSDカードは別売です。

※ダブルカメラでご使用するには、付属カメラの接続が必要です。

## 仕 様

製品型番	RA-DW310G
本体サイズ	約W88×H52×D36mm
本体重量	約77g(メモリーカードなし)
スクリーンサイズ	3.0inch LCD
解 像 度	16:9 / Full HD (1920×1080) / HD (1280×720) / 27.5fps
動画画素数	最大約200万画素
付属カメラサイズ	約W57×H32×D30mm
付属カメラ解像度	1280×720(最大約92万画素) / 25fps
記 録 媒 体	microSDカード(最大64GBまで対応) Class10以上をご使用ください。 (SDHCカード、SDXCカード対応)
インターフェース	mini USB / AV-in
電 源 電 圧	DC12V / 24V
マイク・スピーカー	内 蔵

- ※本製品はmicroSDカードを挿入しないと撮影ができません。
- ※microSDカードはすべての動作を保証するものではありません。  
最初にmicroSDカードは、本機でフォーマットしてからご使用  
ください。→「システム設定(P.20)」
- ※microSDカードの挿入または取り出しは、電源を切ってから  
行ってください。
- ※シガープラグ・USBケーブル等は、同梱の純正品をご使用ください。  
純正品以外部品では動作の保証はいたしかねます。
- ※本機は仕様・特性上、使用中の本体は45～50℃程になります。

## 各部の名称



- ①電源ボタン
- ②ロックボタン
- ③モードボタン
- ④OKボタン
- ⑤付属カメラ入力 (AV in)
- ⑥設置ホルダーねじ穴
- ⑦miniUSB端子
- ⑧microSDカードスロット
- ⑨▲ボタン
- ⑩メニューボタン
- ⑪▼ボタン
- ⑫スピーカー
- ⑬リセットボタン  
(※動作不良時に使用)
- ⑭マイク

### 【付属カメラ】

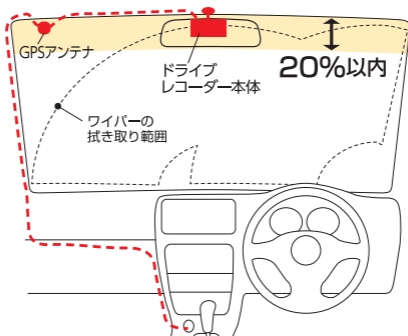


※付属カメラにWDR機能、マイクはありません。



## 取付け方(取付ける際のご注意)

- 車を平らで安全な場所に駐車してから取付けてください。
- 運転(ハンドル、ブレーキ操作)や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- エアバックの近くに取付けたり、配線をしないください。エアバックの動作を妨げたり、エアバックで本製品が飛ばされ、ケガや事故の原因になる恐れがあります。
- フロントガラスの上部20%の範囲内**に取付けてください。
- ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。拭き取り範囲外だと降雨時に鮮明に記録できない可能性があります。



- ルームミラーの操作に干渉しないように取付けてください。
- 配線後のコードは、運転の支障にならないように固定してください。
- 車検証ステッカーなどに重ならないように取付けてください。

※リアガラスの取り付けに関しては、特に保安基準で決められたことはありませんが、効率よく綺麗に映像を撮影するためにしっかりと取り付けをお願いいたします。

## 取付け方(本体カメラ)

※取付ける前に、フロントガラスと設置ホルダーの吸盤の汚れ等をしっかりと拭き取ってください。

- ①本体上部のねじ穴に、設置ホルダーのねじ部分を差込み、本体を持ちながら、ホルダーを回し入れ、最後にノブを回し、しっかりと締め付けます。



- ②設置ホルダーの吸盤をフロントガラスに押しつけ、レバーをセットし、吸着させます。

※両面テープの場合はシールを剥いで、直接フロントガラスに貼ってください。

- ③本体を撮影したい方向に調節し、設置ホルダーのナットを締めて固定します。



※取外す時は、本体をしっかりと持ちながら、レバーのセットを解除し、吸盤のタブをつまんで取り外します。

## 取付け方(付属カメラ)

- 付属カメラの接続ケーブルを本体側の入力端子に接続します。



- 本体に接続する事により、本体カメラの録画時には付属カメラの映像は自動的に録画されます。
- 付属カメラを固定する際は、付属カメラについている両面テープ等で取付けてください。付属カメラは車種や設置場所によりますが、ユーザー様のアイデア次第で後部座席の確認や車内外の別方向の撮影にもご利用頂けます。※完全防水ではありませんので、車外の取付けはお止めください。
- 付属カメラの取付け位置によっては、保安基準により車検に通らない場合があります。詳しくは、「[取付け方\(→P.8\)](#)」をご参照ください。
- 濃いスモークガラスの場合、映りにくい場合があります。

### 【付属カメラの取付け位置例】

※下図はあくまでも一例(イメージ)です。  
取り付ける車両によりご対応ください。



## 車との接続

①下の図を参考に接続してください。



②エンジンをかけると自動的に本体の電源が入り、撮影が開始されます。

※本体にmicroSDカードが挿入されていない場合は、電源は入りますが撮影はされませんのでご注意ください。

③エンジンを切ると、自動的に撮影を停止し、データを保存してから電源が切れます。

### ⚠ 注意 故障の原因となります

- ※必ず付属品を使用してください。
- ※バッテリーやヒューズボックスへの直接接続はおやめください。
- ※他の電化製品と分配して同時に使用すると、電圧不足で使用できない場合があります。

※車両のUSB端子に接続してご使用の場合には、車両のマニュアル等でUSB端子の出力をご確認頂きご使用ください(5V1A)。また、車種により電圧不足により最終ファイルが保存できない場合がございます。その場合には手動にて本体の「OKボタン」(P.7参照)を押して撮影を止めてからエンジンをお切りください。

## ボタンの機能

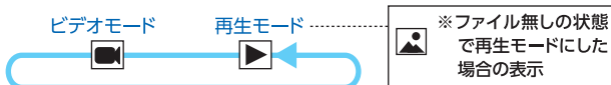
### 電源ボタン

- 電源のオン…長押し(※通電されると自動で電源が入ります)
- 電源のオフ…長押し(※通電がされないと電源は切れます)
- 電源が入っている状態で1度押しと画面が消灯/もう1度押しと点灯(※撮影は停止されません)

### モードボタン

※録画中はボタン操作ができません。「OKボタン」で録画を止めてください。

- 押すたびに下記のように切替わります



### ▲ボタン / ▼ボタン ▲ ▼

- ビデオモード時: ▲ボタン: 付属カメラ画面切替え(※付属カメラ接続時)  
▼ボタン: 音声録音オン・オフ切替え
- 再生モード時: 記録されたビデオの選択  
ビデオ再生時: 早送り・早戻し
- 「システム設定」の項目・設定の選択






### OKボタン


- ビデオモード時: 録画の開始/停止
- 再生モード時: ビデオの再生/一時停止
- 「システム設定」の項目・設定の選択


## ボタンの機能

※録画中はボタン操作ができません。「OKボタン」で録画を止めてください。

メニューボタン  …各設定画面へ


- ビデオモード時:1度押すと「ビデオ設定 」  
→もう一度押すと「システム設定 」  
→もう一度押すと「ビデオモード 」に戻る
- 再生モード時:1度押すと「削除/保護/スライドショー」  
→もう一度押すと「システム設定 」  
→もう一度押すと「再生モード 」に戻る

ロックボタン  …録画中に1度押すとロック  
もう1度押すとロック解除





 ロック状態に表示されるマーク

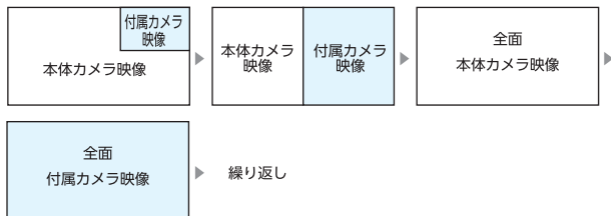
## ビデオモード

### ■ビデオを撮る(録画)

- 本体を電源ケーブルで車に接続 (⇒P.11 参照) して、エンジンをかけると、自動的に電源が入り録画を開始します。(画面左上に  が表示された状態)
- エンジンを切ると自動的に録画を停止します。




### ■ビデオモードでの機能

- 録画を停止するには「OKボタン」を押します。(●が消えます)
- 録画を再開するには再度「OKボタン」を押します。(●が点滅します)
- 「▼ボタン」で音声録音のオン・オフの切替えができます。  
(オン:  オフ: )
- 録画中に「ロックボタン 」でファイルのロック(保護)をかけられます。(ロック状態には  がつきます)
- 付属カメラ接続時、「▲ボタン」で画面を切替えられます。



※録画中はボタン操作ができません。「OKボタン」で録画を止めてください。

## ■ビデオ設定

- ①ビデオモード時で録画停止中に「メニューボタン 」を1回押すと「ビデオ設定 」画面になります。
- ②「▲▼ボタン」で項目を選択し「OKボタン」で決定して各項目の設定画面に進みます。
- ③「▲▼ボタン」で設定を選択し「OKボタン」で決定します。
- ④「メニューボタン 」を2回押すとビデオモードの画面に戻ります。

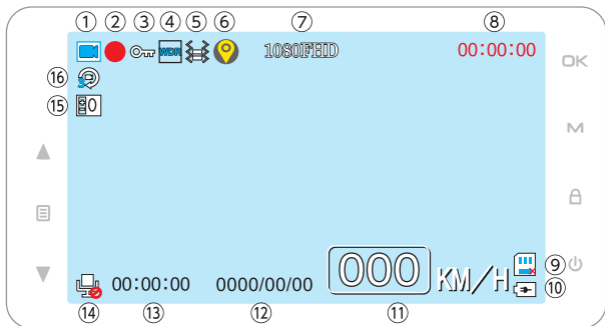
項目	選択可能な設定
解像度	FHD 1920×1080/ HD 1280×720
デュアルレコーディング	オフ/オン ※付属カメラ接続時
ループ録画 (自動繰返し録画)	オフ/1分/3分/5分
WDR (逆光補正)	オフ/オン
露出	+3/+2/+1/0/-1/-2/-3
音声録音	オフ/オン
日付表示	オフ/オン
Gセンサー (衝撃を検知して自動保護)	オフ/低/中/高 ※Gセンサーを「高」にすると、状況により車の振動で画像ファイルがすべてロックされ、上書きループ録画ができません。



## ビデオモード

### ■ビデオモード時の主な画面表示

※設定によって表示は異なります。



- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| ①ビデオモード                          | ⑨microSDカード挿入状態 |
| ②録画中                             | ⑩通電状態           |
| ③ファイルロック設定                       | ⑪速度             |
| ④WDR設定                           | ⑫年/月/日          |
| ⑤Gセンサー設定                         | ⑬時刻             |
| ⑥GPS (アンテナ未接続時は赤色表示)             | ⑭音声録音状態         |
| ⑦解像度設定                           | ⑮露出補正設定         |
| ⑧録画時は現在の録画時間/<br>停止時は録画可能時間 (目安) | ⑯ループ録画設定        |


## 再生モード

### ■ビデオの再生 ※microSDカード挿入状態での操作

①電源が入っていない場合は「電源ボタン」を押して電源を入れます。

②「OKボタン」で録画を停止します。

※電源が入ると自動で録画されますので、録画停止してからボタン操作をしてください。(録画中はボタン操作ができません。 「OKボタン」で録画を止めてください。)

③「モードボタン **M**」で「再生モード 

最後に撮影したビデオが表示されます。

④▲▼ボタンで再生したいビデオを選びます。

⑤ビデオを再生する場合は、「OKボタン」を押して再生します。  
一時停止するには「OKボタン」を押します。

早送り…再生中に「▼ボタン」(押すたびに速度変更:2×/4×/8×)

早戻し…再生中に「▲ボタン」(押すたびに速度変更:2×/4×/8×)

※蓄電が不十分な場合、エンジンを切る直前のファイルが最後まで録画ができていない場合があります。

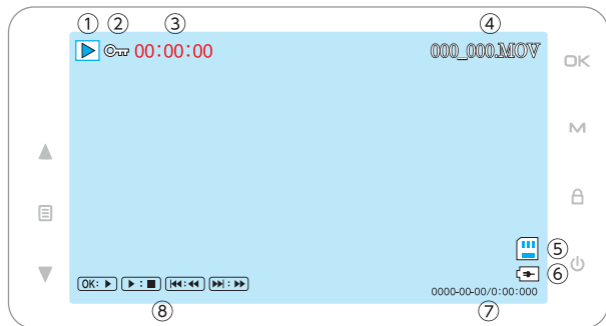
### ■付属カメラの録画映像の再生

- 「▲ボタン」もしくは「▼ボタン」を長押し

## 再生モード

### ■再生モード時の主な画面表示

※設定によって表示は異なります。





- ①再生モード
- ②ファイルロック設定
- ③記録時間
- ④ファイル番号
- ⑤microSDカード挿入状態
- ⑥通電状態
- ⑦記録日時
- ⑧操作機能

## 再生モード








### ■再生設定(データの削除/保護・保護解除/スライドショーの設定)

録画されたビデオファイルを削除またはロック(保護)することができます。

- ①再生モード時で「メニューボタン 」を1回押すと「削除/保護/スライドショー」画面になります。
- ②「▲▼ボタン」で項目を選択し、「OKボタン」で決定して各項目の設定画面に進みます。
- ③「▲▼ボタン」で設定を選択しOKボタンで決定します。
- ④「メニューボタン 」を押すと再生モードの画面に戻ります。

項目	選択可能な設定
削除	現在のファイルを削除 全ファイル削除
保護	現在のファイルをロック 現在のファイルをロック解除 全ファイルロック 全ファイルロック解除
スライドショー	2秒 / 5秒 / 8秒 ➡秒数決定でスライドショー開始。 終了したい時はメニューボタンを1回押す。

## ■設定

- ①「ビデオモード 」もしくは「再生モード 」で「メニューボタン 」を2回押すと「システム設定画面 」になります。  
※録画中はボタン操作ができません。「OKボタン」で録画を止めてください。
- ②「▲▼ボタン」で“項目”を選択し、「OKボタン」を押すと設定画面に進むので「▲▼ボタン」で“設定”を選択し「OKボタン」で決定。
- ③「メニューボタン 」を押すと「ビデオモード 」もしくは「再生モード 」の画面に戻ります。

項目	選択可能な設定
スクリーンセーバー (一定時間操作なしで自動的に画面消灯)	オフ / 30秒 / 1分 / 2分
周波数	50Hz / 60Hz
キー音	オフ / オン
言語	各言語
日付/時刻 →設定方法はP.23へ	年・月・日・時・分・秒
フォーマット※	キャンセル / 実行
デフォルト (※工場出荷時の設定に初期化)	キャンセル / 実行
バージョン	※メーカー管理用
Speed display	オフ / KM/H / MPH
GPSテスト	GPS受信確認用

※フォーマットとは…初期の状態にして本機で使えるようにする作業のことです。  
 フォーマットをするとSDカード内の録画ファイルは全て削除されます。

## microSDカードについて

### ■microSDカードをセットする前に

- ※microSDカードを挿入しないと撮影ができません。
  - ※最初にmicroSDカードは、本機でフォーマットしてからご使用ください。
- 「システム設定(P.20)」

- microSDカードの挿入または取り出しは、電源を切ってから行ってください。(録画中は取り出さないでください。)
- 本製品とパソコンの接続中にパソコンでmicroSDカードに記録されているデータのファイル名やディレクトリ名を変更しないでください。本製品がmicroSDカードを認識できなくなり、正しく機能しない恐れがあります。

**一般的に、microSDカードは消耗品で寿命があります。**

(製品により異なります)

寿命がくると、画面の乱れなど正常な録画ができない恐れがありますので、定期的に新品への交換をお勧めします。

### ■microSDカードのセット・取り出し



※本体の端から2~3mm奥に入った位置でロックされます。

- 電源がオフになっていることを確認してから、microSDカードの挿入向きを示すマークに従い、microSDカードの端子が液晶側に向くように「カチ!」と音がするまで確実に挿入してください。
- 取り出す時はmicroSDカードを押すと、microSDカードが飛び出す\*ので、その後取り出します。  
※パネにより飛び出しますので紛失等にご注意下さい。

※電源オンのときにmicroSDカードが挿入されていると画面にアイコンが表示されます。

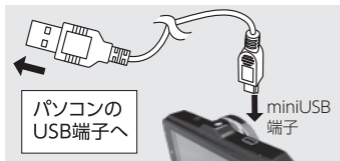
## 録画ファイルの読み込み

本機で記録した録画ファイルは、通常の動画ファイルと同じようにパソコンで取り扱うことが可能です。

- パソコンのモニターで録画ファイルの再生
- 録画ファイルのバックアップ
- 不要なファイルの削除 等

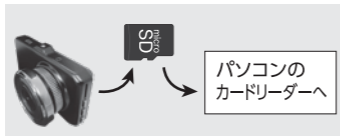
録画ファイルの確認は、パソコンのモニター等大きな画面での再生をおすすめします。

### ■パソコンとの接続による読み込み (Mac/Win対応)



- ①本製品付属の「miniUSB / USBケーブル (約0.2m)」を使ってパソコンと接続します。(miniUSBは本機側・USBはパソコン側)
- ②自動的に電源が入ります。
- ③「OKボタン」を押すと、パソコン側で認識され、録画ファイルを確認できます。

### ■microSDカードからの読み込み



- ①本機からmicroSDカードを取出し、パソコン側のカードリーダーへ挿入します。
- ②パソコン側で認識され、録画ファイルを確認できます。

※microSDカードをパソコンで読み込むには別売のカードリーダーが必要な場合があります。

※パソコンでのファイルの操作方法は、パソコンの取扱説明書等でご確認ください。

- microSDカード一杯に録画されると、ロックされていない最初のファイルから上書きされる仕様になっています。
- 大事なデータは、随時パソコン等へ移してバックアップすることをおすすめします。

## 電波干渉に関するご案内

- ドライブレコーダーを設置した際に、まれに車載のテレビ／カーナビ等にノイズが出る場合があります。ドライブレコーダーを含む全ての電子製品は少なからず電磁波(ノイズ)を発生させます。ノイズは車種や車の電子デバイスの構成により発生する場合があります。
- カーナビ等の本体やアンテナからドライブレコーダーや電源ケーブルを離してください。
- シガーライターソケットから分配器を使用(タコ足配線)した場合には、ノイズが発生する場合がありますので、シガーライターソケットへ直接接続をご確認ください。
- 車のシガーライターソケットから充電する機器の影響でノイズが発生する場合があります。

## 日付・時刻の設定方法

※録画中はボタン操作はできませんので、OKボタンを押して録画を停止してください。

- 1.「メニューボタン」を2回押して、「システム設定」の画面にし、「▼ボタン」を押して「日付/時刻」にカーソルを合わせ、「OKボタン」で決定すると、設定画面が開きます。
- 2.「▲▼ボタン」で「西暦」を合わせ、「OKボタン」を押します。
- 3.次に、「月」を「▲▼ボタン」で合わせて「OKボタン」を押します。
- 4.次に、「日」を「▲▼ボタン」で合わせて「OKボタン」を押します。
- 5.次に、「時刻」を同様に「▲▼ボタン」で合わせ、「OKボタン」で決定します。
- 6.最後に「メニューボタン」で決定します。



## GPSビューアアプリ【GXPlayer】

録画されたファイルのGPSデータにて、GPSビューアアプリ『GXPlayer』を使用して、パソコン上で走行データの視聴確認ができます。

### ■『GXPlayer』のダウンロード

池商ウェブサイト (<http://www.ikesho-n.jp/>) にアクセスし、以下のページでダウンロードしてください。

- **家電** > **サポート情報** > **ダウンロード** > **ソフトウェアダウンロード** > **ドライブレコーダー** > 『GXPlayer』

(<http://www.ikesho-n.jp/ramasu/support/download/software/>)

#### 【池商ウェブサイト】



# GPSビューアアプリ【GXPlayer】

## ■『GXPlayer』画面表示説明



- ①再生画面
- ②ファイル再生インジケータ（スライドで移動可能）
- ③ファイル再生時間/ファイル時間
- ④音量オン/オフ
- ⑤音量（スライドで調節可能）
- ⑥ファイルリストの1つ前のファイルを再生
- ⑦▶:再生 / ||:一時停止
- ⑧ファイルリストの1つ次のファイルを再生
- ⑨停止
- ⑩フォルダを開いて再生するファイルを選択
- ⑪再生中の動画の静止画キャプチャーを保存(.bmpファイル形式)

## ■『GXPlayer』画面表示説明

- ⑫再生中の動画のスピードメーター(※1)
- ⑬再生中の動画の方位(※1)
- ⑭設定メニュー(→P.28)
  - 言語選択 ●速度単位選択 ●地図選択 ●バージョン確認
- ⑮ウィンドウの最小化
- ⑯ウィンドウの最大化/縮小
- ⑰アプリの終了
- ⑱**地図**:再生中の動画のGPSデータに連動した地図と経路を表示  
(※GPSを止めて録画したファイルを再生した場合には機能しません。)
- ⑲**ファイルリスト**:直近で再生したファイルのリストを表示します。  
再度視聴したい場合はダブルクリックで再生します。

※1…GPSデータを使用している為、実際の速度/方向と差異がありますので、あくまでも目安としてご確認ください。

# GPSビューアアプリ【GXPlayer】

## ■『GXPlayer』使用方法

- ①「録画ファイルの読み込み(⇒P.22)」を参考に、録画ファイルをパソコンに読み込みます。
- ②『GXPlayer』を起動します。
- ③フォルダアイコン(⇒P.25 画面表示説明 ⑩)をクリックして、再生したい録画ファイルがあるフォルダを開きます。
- ④録画ファイルを選んで開きます。
- ⑤録画ファイルが再生されると、GPSデータに連動して右画面に地図と経路が表示されます。

## ■注意事項

- 対応OS:Windows8/10(※Mac非対応)
- 全てのパソコンにおいての動作は保証しておりません
- パソコンの処理能力によっては、反応が遅い等の動作が安定しない場合があります。
- 動作が不安定な場合は一度アプリを閉じた後、再度起動し直すと正常に動作する場合があります。

# GPSビューアアプリ【GXPlayer】

## ■『GXPlayer』設定メニュー

『GXPlayer』画面右上の設定メニューアイコン(→P.25 画面表示説明 ⑭)をクリックすると、設定メニューが表示されます。各項目の右端の▼ボタンで選択項目が表示されます。

- ① Language/言語: 日本語・英語・中国語 等
- ② Speed unit/速度単位: KMH・MPH
- ③ Maps/地図: amap・Google Map・OpenstreetMap
- ④ soft service/バージョン: バージョンの確認・バージョンアップ



## microSDカードに関するご案内

- microSDカードは、消耗品ですので使用頻度により劣化します。
  - 新品のmicroSDカードをご使用の場合には、P.20に記載の「システム設定」の項目よりフォーマット作業を必ず行ってください。  
※フォーマットとは、初期の状態にして本機で使えるようにする作業のことです。フォーマットをするとSDカード内の録画ファイルは全て削除されます。
  - microSDカード内に、Gセンサー機能にて保存された録画データが増えると繰り返し録画をする容量が減少し、録画が出来なくなりますので、不要なファイルを削除頂くかフォーマットしてください。
  - 月に1回程度はドライブレコーダー本体またはパソコンにて録画確認を行ってください。録画確認の際に、録画出来ていない・途切れる・暗くなる等の症状が出た場合にはmicroSDカードを交換してください。
  - 必要な録画データは、本機からmicroSDカードを抜き出し、パソコンに移すなどをして必ずデータのバックアップを行ってください。再度本機でmicroSDカードをご使用の場合には、本書記載のフォーマット作業を行ってください。
  - エラー表示、録画しない、砂嵐が出る、画面が消える等の症状が出た場合は、microSDカードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。差し込みに問題がない場合は、本書記載のフォーマット作業を行ってください。
- ※月に1～2回本機でmicroSDカードをフォーマットしていただくとう動作が安定いたします。定期的なフォーマットを行ってください。

## 用語解説

- **ループ録画** …繰り返しの上書き録画。1分／3分／5分間隔の録画時間を選べます。オフに設定すると、microSDカードの容量いっぱいまで録画します。
- **WDR** …トンネル出口や夜間のテールランプ等明暗差がある被写体と背景をどちらも見えるレベルに補正する機能です。
- **露出** …露光を＋で加減し適正露光を求める機能です。
- **Gセンサー** …衝撃を感知したときに自動的にファイル保護する機能です。ただし、**衝撃の度合いによっては、ファイルを保護できない場合があります。事故発生時は、ファイル保護の為、必ず電源をOFFにしてから電源プラグを抜いて、ファイルが上書きされない様にしてください。**
- **スクリーンセーバー** …スクリーンセーバーがオンになっている場合、設定した時間に画面は消えますが、録画は続いています。  
※走行中に画面の動きが運転の邪魔になるなどの場合に設定してください。
- **スーパーキャパシタ** …メモリー等のバックアップなどに使用される蓄電装置のことです。製品寿命が長く、バッテリーに比べて安全性の高さが特徴です。
- **GPS** …Global Positioning System (グローバル・ポジショニング・システム) の略で、GPS衛星からの信号を受信機で受け取って、現在位置を把握するシステムです。

・RAMASUIは、株式会社池商の登録商標です。

・microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

・microSD Logolは登録商標です。

・その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

# 必ずお読みください

## □注意事項

- 本機は必ず定められた電圧でご使用ください。(DC12V/24V) ※感電や火災、故障の原因となります。
- DCプラグ、DCケーブルは付属品をご使用ください。付属品以外は本機の故障原因となります。
- 本機取り付けの際は、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。
- 本機のスピーカー、結合部分などの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。
- 本機を温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。
- コードが破損している状態では使わないでください。またコードを外す時は、必ずプラグ部分を持って外してください。
- 本機を長時間動作した場合、本機またはレンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。
- 本機はガラス面に正しく取り付けてください。
- ソケット部または電源コードのほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。
- 本機の近くに磁気性ある物を置かないでください。
- 本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
- トンネル出入時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合は条件により録画品質が落ちることがあります。
- 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトをつけてください。
- 本機のカメラレンズの表面やフロントガラスの表面はいつもきれいにしておいてください。

## □免責事項

- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による障害、または録画した映像の破損や損傷によって生じた障害は、当社は一切の責任を負いかねます。
- 車両バッテリー上がり、ヒューズ切れに関して当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- LED信号で記録映像がチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それに生じた損害は、当社は一切の責任を負いかねます。
- microSDカードの取り扱いには十分注意して、注意事項をよくお読みになり使用してください。データの損失おそび破損に関して当社は一切の責任を負いかねます。



## 必ずお読みください

### □録画について

- ・動作を確認するために、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・走行中に本機を操作したりディスプレイを注視しないでください。録画をおこなう場合周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間映像にノイズが入っているように見えたり、夜間映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・録画条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・電源を入れたあと、録画開始まで時間がかかる場合があります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。
- ・録画して動画でナンバープレートなど詳細確認はパソコンでご確認ください。※本機では確認できない場合があります。

### □液晶ディスプレイについて

- ・同じ映像を繰り返し表示した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- ・液晶ディスプレイの性質により、スジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証になりません。
- ・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。設置する際はご注意ください。
- ・遮光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

### □アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分へ供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

### □カメラレンズ、本機について

- ・本機動作中、カメラのレンズ、本機が発熱することがありますが、異常動作ではありません。大変熱くなる場合がありますので直接手で触れないようご注意ください。

### □ご使用中に事故が発生した場合

- ・車のエンジンをオフにし、本機からDCプラグを外して確実に電源がオフになっていることを確認してからmicroSDカードを取り出してください。